



ののだけかんきょうまもりたいこういききょうてい

笹岳環境まもり隊広域協定（涌谷町）

本地域は宮城県北部の大崎平野の東部、涌谷町に位置した水田地帯で、北は北上川水系旧迫川の右岸に接し、南は笹岳山、加護防山の丘陵地帯に挟まれ、東西に細長い地形を成し、東西7km、南北1～2kmに展開する532haの耕地を有している。

地区内の地形は、ほとんど標高がKP2.00～5.00の低地で平坦な水田地帯を形成し、降雨時の排水は河川に機械排水されている。集落は丘陵地帯に散在している。平成19年度の農地・水・環境保全向上対策から14集落を1活動に統合した広域活動組織で活動している。

【R3地区概要】

- ・認定農用地面積 532.8ha(田)
- ・資源量 水路 135.6km
農道 29.4km、ため池7箇所
- ・主な構成員 農業者・非農業者
自治会 等
- ・交付金 約23百万円(R2)
〔農地維持・資源向上(共同・長寿)〕

活動開始前の状況や課題

- ・地域内の農家戸数については、農地集積による農業経営規模拡大や過疎化、高齢化により10年前と比較し30%の減少傾向にある。それに伴い、集落の共同活動で実施している水路の泥上げ、草刈り等が困難になってきている。規模拡大農家の作業負担の増加も懸念されている。
- ・施設については、地域内農地の30%が造成後45年を経過し、老朽化に伴う破損、漏水、不同沈下等が発生し、維持管理が困難な状況となっている。
- ・造成された施設については土地改良区や耕作者で維持管理してきたが、高齢化等により耕作者の62%が適正な維持管理が困難な状況となっている。



取組内容

- ・当活動組織内には14集落があり、集落によっては申請手続きや事務作業の煩雑さ、又は集落をまとめるリーダーの不在等で本対策に取組めない集落が予想されたため、組織立ち上げには土地改良区が積極的に関与し、事務的作業面については全面的に協力する体制とし、旧市町村単位の広域化を推進した。
- ・農地維持活動では農地・水路・ため池などの草刈り、泥上げ農道の路面維持等の基礎的な保全活動、資源向上(共同)活動では水路、農道、ため池の軽微な補修や地元小学生との生き物調査を実施。
- ・景観形成作物として、防草シートにシバザクラを組み合わせ、草刈り作業の省力管理と景観形成の向上を図った。
- ・長寿命化については、老朽している用水路の更新を行っている。



取組の効果

【土地改良区との連携】

- ・土地改良区の事業委員会では水路の泥上げ、草刈りなどの年間活動計画を策定。その計画が各集落の農地維持活動計画に反映される。
- ・土地改良区全組合員から施設の不具合や補修箇所について毎年申請され、事業委員会で改良区事業と多面的活動に分類。多面的の場合は、再度機能診断後に活動を実施。
- ・本事業に取り組んでから、農地中間事業を通じてリタイヤした農家や非農家を問わず、地域の環境を守るために集落が一体となり、共同活動に取り組むことができた。

【広域協定の重点活動】

- ・法面の防草シートにより、草刈り等維持管理労力が低減した。
- ・広域協定全体で草刈りなどの維持管理体制を構築し、担い手への支援体制を確立した。
- ・高齢化、後継者不足を補うため、トラクターによる草刈りを活用し、効果的・効率的な活動の実現。
- ・老朽化が著しい水路については施設の長寿命化で更新活動を実施。実施路線の決定、測量、設計、積算については土地改良区で実施。